

みやざきエコアクション報告書

<平成22年度（平成22年7月～平成23年3月）>



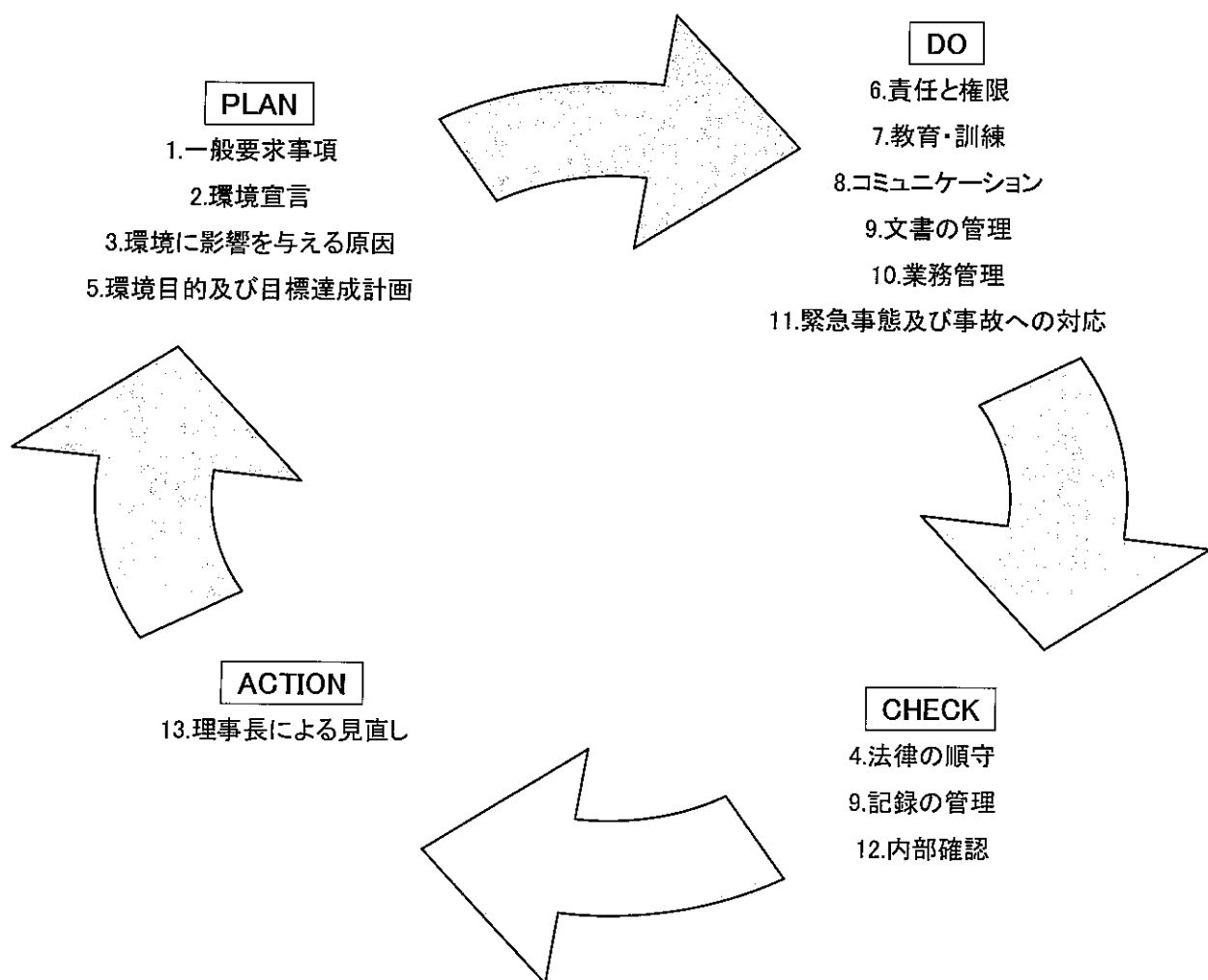
住 所 宮崎市大字小松 1119 番地

会 社 名 (財) 潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院

電話/FAX 0985-47-3744 / 0985-47-5202

目次

1. 一般要求事項	1
2. 環境宣言	1
3. 環境に影響を与える原因	2
4. 法律の順守	3
5. 環境目的及び目標達成計画書	4
6. 責任と権限	5
7. 教育・訓練	6
8. コミュニケーション	6
9. 文書・記録の管理	7
10. 業務管理	8
11. 緊急事態及び事故への対応	8
12. 内部確認	8
13. 理事長による見直し	9



1. 一般要求事項

当事業所は、「みやざきエコアクション認証規格」の要求事項に基づきエコアクションシステムを確立するとともに、システムに関連する文書を作成・運用し、システムを継続的に改善する。

2. 環境宣言

地球は、過去からその自浄作用により人の住みやすい環境を維持してきた。然しながら、ここ数年間に世界で発生している異常気象は、その自浄作用を超えた環境負荷が原因と言われている。その最たる要因が、地球温暖化ガスの急増である。これを削減して地球環境の改善を図ることが、今や人類にとって最も重要且つ緊急の課題となっている。この改善を実施するには、全ての国、全ての団体、全ての人々が共通の問題意識を持って対処するしかない。当財団はその観点に立って、病院業務において、省資源、省エネルギー、廃棄物の減量化、CO2 削減など環境負荷の軽減と循環型社会構築のため、次の取り組みを実施します。

1. 環境に対する基本姿勢

良き医療人として地球環境の保全に充分配慮する。

2. 環境関連法規の順守

国内外の環境関連法規を順守する。

3. 自然環境への配慮

自然生態系の環境保全並びに生物多様性の維持・保全に充分配慮する。

4. 省資源・省エネルギーの推進

資源・エネルギーの有限性を認識し、その有効利用に努める。

5. 循環型社会構築への寄与

廃棄物の発生抑制・再利用・リサイクルに取り組み、循環型社会の構築に向け努力する。

6. 環境保全型の事業の推進

環境保全型事業を推進し、社会の環境負荷の低減に努め、継続的に実施する。

7. 環境管理の確立

環境目的・目標を設定し、定期的な見直しを行い、環境汚染の予防に努める。

8. 環境方針の開示

この環境方針を当財団で働く全ての職員に周知するとともに広く開示する。

3. 環境に影響を与える原因

番号	時間	業務活動	環境に影響を与える原因 (インプット/アウトプット)	環境への影響
①		空調設備の使用	電気の使用、ガスの使用/排出ガスの発生	天然資源の枯渇、地球温暖化
②		事務室内の照明	電気の使用、/排出ガスの発生	天然資源の枯渇、地球温暖化
③		エレベーターの使用	電気の使用、/排出ガスの発生	天然資源の枯渇、地球温暖化
④		自動販売機の設置	電気の使用、/排出ガスの発生	天然資源の枯渇、地球温暖化
⑤		ガス給湯器の使用	ガスの使用、水の使用/排出ガス、排水	天然資源の枯渇、地球温暖化、大気汚染、水質汚濁
⑥		水・トイレの使用	水の使用、紙の使用/排水、ゴミの発生	天然資源の枯渇、水質汚濁
⑦		ゴミの排出、包装、梱包、段ボールの排出	紙・容器の使用/使用済み用紙・容器の発生	天然資源の枯渇、地球温暖化、廃棄物の発生
⑧		食べ残しや残飯等の発生、廃食用油の排出	水の使用、ゴミの発生/排水、ゴミの発生	天然資源の枯渇、地球温暖化、大気汚染、水質汚濁
⑨		医療廃棄物の排出	ゴミの発生/ゴミの発生	天然資源の枯渇、地球温暖化、大気汚染、水質汚濁
⑩		消耗品の使用	紙・容器の使用/使用済み用紙・容器の発生	天然資源の枯渇、地球温暖化、廃棄物の発生

・当事業所が環境に対して影響を与える主な原因となるもの

①	電気の使用
②	ガスの使用
③	紙・水の使用
④	排出ガスの発生
⑤	消耗品の使用

4. 法律の順守

	法律・条例名	法規制の内容	事業所の対応・許認可	定期評価(月日)	
①	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条第2項 産業廃棄物が運搬されるまでの間、環境省令で定める技術上の基準に従い、生活環境の保全上支障のないように保管	産業廃棄物保管基準の順守	済印 9/30	印 3/31
②	同上	第12条第3項 産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合には、産業廃棄物収集運搬業者、産業廃棄物処分業者、その他環境省令で定める者に委託	運搬…産業廃棄物収集運搬許可業者(第一ビル工事㈱)に委託 処分…産業廃棄物処分許可業者(ニシモロ開発㈱・㈱イーアールシー高城)に委託	済印 9/30	印 3/31
③	同上	第12条の2第6項 特別管理産業廃棄物管理責任者の設置	事業所設置届出、特管物管理責任者	済印 9/30	印 3/31
④	同上	第12条の3第1項 産業廃棄物の引渡しと同時に運搬を委託した者(処分のみを委託した場合は処分を受託した者)に対し、産業廃棄物管理票を交付	産業廃棄物収集運搬許可業者(第一ビル工事㈱)に産業廃棄物管理票を交付	済印 9/30	印 3/31
⑤	同上	第12条の3第5項 管理票の写しの送付を受けたときは、運搬又は処分の終了を管理票で確認し、管理票の写しを受けた日から5年間保存	産業廃棄物管理票綴りに保管	済印 9/30	印 3/31
⑥	同上	第12条の3第6項 管理票に関する報告書を作成し、宮崎市長へ提出	毎年6月30日までに宮崎市廃棄物対策課へ提出	済印 9/30	印 3/31
⑦	宮崎市廃棄物の適正処理、減量化及び資源化等に関する条例	第23条の2 当該建築物から排出される事業系一般廃棄物の減量に関する計画及び実績を毎年度1回宮崎市長に提出	事業系一般廃棄物減量計画書を5月に提出	済印 9/30	印 3/31
⑧	同上	第23条の4 廃棄物管理責任者の選任及び宮崎市長への届出	廃棄物管理責任者選任・変更届を5月に提出	済印 9/30	印 3/31
⑨	エネルギーの使用の合理化に関する法律	第14条 エネルギーの使用の合理化の目標に関し、その達成の中長期的な計画の作成し主務大臣に提出	中長期計画書を11月末日までに提出	済印 9/30	印 3/31
⑩	同上	第15条 エネルギーの使用量その他エネルギーの使用状況並びに消費する設備等に関する事項を主務大臣に報告	エネルギー使用状況届出書を7月末日までに提出	済印 9/30	印 3/31
⑪	毒物及び劇物取締法	第11条2項 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物若しくは劇物又は毒物若しくは劇物を含有す	必要な措置を講じ、政令で定める物が飛散し、漏れ、流れ出、しみ出、又は地下にしみ	済印 9/30	印 3/31

		る物であつて政令で定めるものがその製造所、営業所若しくは店舗又は研究所の外に飛散し、漏れ、流れ出、若しくはしみ出、又はこれらの施設の地下にしみ込むことを防ぐのに必要な措置を講じなければならない。	込んだ場合において、不特定又は多数の者について保健衛生上の危害が生ずるおそれがあるときは、直ちに、その旨を保健所、警察署又は消防機関に届け出るとともに、保健衛生上の危害を防止するために必要な応急の措置を講じる。		
⑫	PCB処理 特別措置法	第 8 条 PCB廃棄物の保管及び処分の状況に関し環境省令で定める事項を都道府県知事に届出	都道府県知事に提出	済⑩ 9/30	⑩ 3/31
⑬	消防法	法第 8 条、政令第 3 条、規則第 4 条 防火管理者の選解任の届出	防火管理者の選解任届出の提出	済⑩ 9/30	⑩ 3/31
⑭	同上	法第 8 条、政令第 4 条、規則第 3 条 消防計画書の届出	消防計画書の届出	済⑩ 9/30	⑩ 3/31
⑮	同上	法第 8 条、政令第 4 条、規則第 3 条 消火訓練及び避難訓練を実施する場合の通報	通報及び訓練の実施	済⑩ 9/30	⑩ 3/31
⑯	大気汚染防 止法	第 16 条 ばい煙量又はばい煙濃度を測定し、その結果を記録	3 年間記録保管	済⑩ 9/30	⑩ 3/31
⑰	労働安全衛 生法	雇入れ時の健康診断、定期健康診断、管理区域の明示、被ばく線量の測定、線量の測定結果の確認と記録、特殊健康診断	全職員に 1 年 1 回健康診断実施、標識による管理区域の明示、放射線業務従事者の管理区域内での被ばく線量測定、管理区域に立ち入る者に対し 6 カ月に 1 回実施	済⑩ 9/30	⑩ 3/31

5. 環境目的及び目標達成計画書

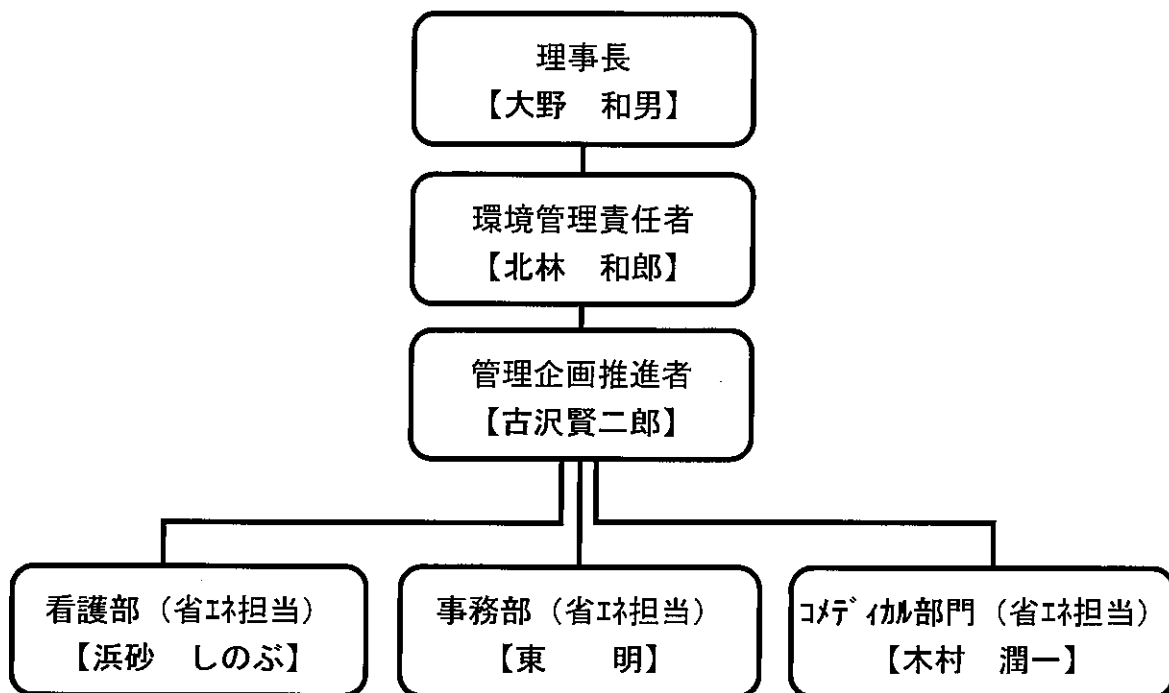
番号	環境宣言 (該当箇所)	環境目的 (中期的な目標)	環境目標 (単年度の目標)	事業所の行動内容 (具体的な方法・対策)	達成度
①	すべての業務活動において、エネルギー利用の効率化に努める	平成 21 年度を基準値とし、平成 24 年度までに電気使用量を 3%削減する	【平成 22 年度】 平成 21 年度と比較して 0.5%削減	①クールビズ・ウォームビズを導入し、冷房温度は 28℃、暖房温度は 20℃に設定 ②照明や OA 機器のこまめな電源オフ③職員のエレベーター利用は 3 階以内は階段を利用する	4.7 % 増加
			【平成 23 年度】 平成 21 年度と比較して 1.5%削減	同上	
			【平成 24 年度】 平成 21 年度と比較して 3%削減	同上	

	すべての業務活動において、エネルギー利用の効率化に努める	平成 21 年度を基準値とし、平成 24 年度までにガスの消費量を 7%削減する	【平成 22 年度】 平成 21 年度と比較して 2%削減	太陽熱利用の給湯システム導入により（4 か月分）	11.3 % 増加
			【平成 23 年度】 平成 21 年度と比較して 6%削減	上記（1 年間分）	
			【平成 24 年度】 平成 21 年度と比較して 7%削減	同上	
③	資源の有効活用を図る	平成 21 年度を基準値とし、平成 24 年度までに紙使用量を 3%削減する	【平成 22 年度】 平成 21 年度と比較して 1%削減	①電子メールの活用 ②両面コピーの徹底 ③裏面活用の促進 ④資料等は簡素にまとめ作成枚数を減らす	9.4 % 削減 ※1
			【平成 23 年度】 平成 21 年度と比較して 2%削減	同上	
			【平成 24 年度】 平成 21 年度と比較して 3%削減	同上	
④	資源の有効活用を図る	平成 21 年度を基準値とし、平成 24 年度までに消耗品を 3%削減する	【平成 22 年度】 平成 21 年度と比較して 1%削減	月別・部署別の消耗品使用金額表を作成して各部署長にメール配信し見える化する	24.6 % 削減 ※2
			【平成 23 年度】 平成 21 年度と比較して 2%削減	同上	
			【平成 24 年度】 平成 21 年度と比較して 3%削減	同上	

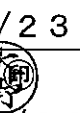
※1、コピー用紙の金額の他に印刷物等含む。

※2、平成 21 年度は 22 年 3 月電子カルテ入替導入に伴うシステム周辺消耗品を購入している。（H23 年 5 月追記：古沢）

6. 責任と権限



7. 教育・訓練

番号	教育・訓練の内容、 セミナー・資格取得名等	受講者名	実施 予定月	評価 (実施月日)
①	環境宣言及びエコアクションシステムの内容について	主任以上（60名）以下伝達教育	8月	済印 8/17
②	エネルギー管理講習（新規講習）	業務部主任 古沢賢二郎	7月	済印 7/8
③	エネルギーに関する講演会 演題「地方公立病院の省エネ活動への挑戦」、「設備総合管理（高度医療を支える高度エネルギー管理）」	業務部部长 林田邦民 業務部主任 古沢賢二郎	7月	済印 7/14
④	PCB 処理に関する研修会	業務部部长 林田邦民	8月	 8/27
⑤	省エネルギー勉強会（院内研修）	主任以上（60名）以下伝達教育	9月	 11/10
⑥	事業所ごみ減量研修会	業務部部长 林田邦民 業務部主任 古沢賢二郎 業務部 佐々木利美	翌2月	 2/24
⑦	自衛消防訓練	全職員	年2回	 10/6 2/23
⑧	産業廃棄物排出事業者講習会	業務部部长 林田邦民 業務部主任 古沢賢二郎	10月	 10/22

⑨	平成22年度エネルギー使用合理化シンポジウム	常務理事 北林和郎 業務部部長 林田邦民	10月	10/27
⑩	特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会	業務部部長 林田邦民 業務部主任 古沢賢二郎	2月	2/27
⑪	電力利用効率化講演会への講師派遣	業務部部長 林田邦民	2月	2/28

8. コミュニケーション

番号	受付日	相手先	環境関連苦情・要望内容	処理内容	評価 (月日)
①			特になし		⑩ ✓
②					⑩ ✓
③					⑩ ✓
④					⑩ ✓
⑤					⑩ ✓

9. 文書・記録の管理

・文書管理

番号	文書名	作成者	承認者	保管場所	保管期間
①	みやざきエコアクションマニュアル	環境管理責任者	理事長	エコアクション専用キャビネット(業務部)	廃止されるまで
②	みやざきエコアクション認証規格	宮崎市 環境保全課	宮崎市長	エコアクション専用キャビネット(業務部)	廃止されるまで
③	みやざきエコアクション認証に関する要綱	宮崎市 環境保全課	宮崎市長	エコアクション専用キャビネット(業務部)	廃止されるまで
④	みやざきエコアクションの認証取り消し等に関する要領	宮崎市 環境保全課	宮崎市長	エコアクション専用キャビネット(業務部)	廃止されるまで

⑤	コピー機使用のルール (手順書)	環境管理責任者	理事長	エコアクション専用 キャビネット(業務部)	廃止されるまで
⑥	OA機使用のルール(手順書)	環境管理責任者	理事長	エコアクション専用 キャビネット(業務部)	廃止されるまで
⑦	大規模災害マニュアル	環境管理責任者	理事長	エコアクション専用 キャビネット(業務部)	廃止されるまで

・記録管理

番号	記録名	作成者	保管場所	保管期間	備考
①	みやざきエコアクション 報告書	環境管理責任者	エコアクション専用 キャビネット(業務部)	3年間	
②	電力使用量記録簿	環境管理責任者	エコアクション専用 キャビネット(業務部)	3年間	
③	ガス使用量記録簿	環境管理責任者	エコアクション専用 キャビネット(業務部)	3年間	
④	紙使用量記録簿	環境管理責任者	エコアクション専用 キャビネット(業務部)	3年間	
⑤	消耗品使用記録簿	環境管理責任者	エコアクション専用 キャビネット(業務部)	3年間	
⑥	不適合に対する処置記録 簿	環境管理責任者	エコアクション専用 キャビネット(業務部)	3年間	

10. 業務管理 (『3.環境に影響を与える原因』で作成)

- ・文章管理番号⑤: コピー機使用のルール(手順書)
- ・文書管理番号⑥: OA機器使用のルール(手順書)

11. 緊急事態及び事故への対応

- ・文章管理番号⑦: 大規模災害マニュアル

12. 内部確認

“みやざきエコアクションマニュアル”に記載されている1～13の事項を正確に行っているかを確認する。

- ①内部確認の基準…みやざきエコアクション認証規格
- ②内部確認を行う頻度…年1回(事業所の決算月)

エコアクション マニュアル	確認内容	結果	判定
1. 一般要求事項	・事業所は、みやざきエコアクション認証規格の要求事項に従って、みやざきエコアクションのシステムを確立し、文書化し実行し、継続的に改善しているか。	全て行っている	A
2. 環境宣言	・理事長は事業所の環境宣言を定め、文書化し、実行しているか。	実行している	A
	・事業所で働く又は事業所のために働くすべての人々に周知させているか。	周知している	A
	・環境宣言文は一般の人々が入手可能なようにしているか。	実行している	A
3. 環境に影響を与える原因	・事業所は、管理できる環境に影響を与える原因となるものを特定しているか。	特定している	A
4. 法律の順守	・事業所は、関係のある環境関連法律、条例等を特定し文書化し、順守しているか。	特定し、順守している	A
5. 環境目的及び目標達成計画	・事業所は、測定可能（数値）な環境目的及び目標を設定し、実行しているか。	設定し、実行している	A
	・環境目的及び目標を達成するための具体的な方法及び日程を設定しているか。	設定している	A
6. 責任と権限	・事業所はエコアクションを実行するために、役割責任及び権限を定め文書化し、周知しているか。	行っている	A
7. 教育・訓練	・事業所は、エコアクションを効果的に行うための教育・訓練を明確にしているか。	明確である	A
8. コミュニケーション	・組織は、外部の利害関係者から、環境に関連するコミュニケーションについて受け付け、文書化し、対応しているか。	対応している	A
9. 文書・記録の管理	・事業所は、エコアクション規格で必要な文書、記録の一覧表を作成することにより、明確にしているか。	明確である	A
10. 業務管理	・事業所は、環境宣言、環境目的と整合した、環境に影響を与える原因となる業務を特定しているか。	特定している	A
11. 緊急事態及び事故への対応	・事業所は、環境に影響を与える可能性のある緊急事態及び事故を特定しているか。	特定している	A
	・事業所は、環境に影響を与える可能性のある緊急事態・事故にどのように対応するかの手順（ルール）を文書化し、実行しているか。	実行している	A
12. 内部確認	・事業所は、下記の事項を行うために、定期的エコアクションについての内部確認を確実に実施しているか。	実施している	A
	・みやざきエコアクション認証規格の要求事項及び事業所で計画した事項を明確に行っているか。	行っている	A
	・内部確認の結果を代表者に報告しているか。	報告している	A
	・所定のとおり内部確認した結果、不適合が発見された場合、その不適合に見合う処置又は是正処置が行われているか。	行われている	A
	・潜在の不適合を除去するために、その潜在の不適合に見合う予防処置が行われているか。	行っている	A
13. 理事長による見直し	・理事長による環境宣言、環境目的、エコアクション及びその他の見直しの結果、変更に関係する事項に対しては、評価、決定し、処置が行われているか。	実施している	A
・不適合（指摘）事項 特になし			

13. 理事長による見直し

番号	見直し項目	コメント
①	内部確認報告書	エコアクション認証規格の要求事項に適合したエコアクションマニュアルに基づく取り組みが確実に実施されており、システムが適切に運用されている。
②	法律の順守状況	法令の改正情報等を速やかに取得して、内容を特定し順守している。
③	環境関連苦情・要望	現在近隣より特に出されていない。
④	事業所の環境実績	気候変動によるものと思われるが電気使用量、ガス使用量とも前年度実績より増加している。また23年度は増築部分の電気使用量の増大が見込まれるので今夏の具体的節電対策を講じること。
⑤	環境目的の達成度	上記の通り電気使用量、ガス使用量とも前年度実績より増加傾向にある。ガスについては22年下期に導入した太陽熱利用エコ給湯システムの効果について結果検証し、電気は特に今夏の具体的節電対策を講じること。また消耗品についてはより細かな項目ごとの内容分析を行い削減に努めること。
⑥	改善のための提案	全員の意識付けを行うための効果的な研修企画や、省エネに関する役割分担をより明確にすること。
理事長による 総合評価		【環境宣言】 引き続き、掲げている環境宣言の観点に基づき、省資源・省エネルギーに取り組むこと。 【環境目的及び環境目標】 気候変動による影響で平成22年度はエネルギーの使用量が増加した。さらに23年度は増築部分のエネルギー使用量の増大が見込まれるので、特に今夏の電気使用量の削減については具体的節電対策を講じること。あわせて22年下期に導入した太陽熱利用給湯システムの削減効果を検証すること。その他のエネルギーについても結果差異についてその要因を特定し削減対策を講じること。 【エコアクションシステム及びその他の要素】 全員の意識付けを行うための効果的な研修の企画や、省エネに関する役割分担をより明確にすること。

記念病院

平成22年度

作成者	承認	承認
		

年 月		購入電力			自家発	都市ガス	LPG	灯油	重油	地域熱供給	用水	天然
		最大電力	電力量		電力量	13A			A	蒸気	温水・冷水	ガス
年	月	kW	(昼間) kWh	(夜間) kWh	kWh	m³	kg	L	L	GJ	GJ	m³
22	4	737	153,168	112,152	34,055	18,519					125	12,719
	5	648	144,984	125,256	35,000	11,756					114	
	6	1,025	210,192	123,864	32,930	11,927			240		101	12,368
	7	1,080	283,602	166,248	31,081	19,529					92	
	8	1,099	297,864	179,616	28,426	30,114					85	14,486
	9	1,080	250,732	162,048	29,466	33,047					86	
	10	780	176,184	120,840	34,185	18,754					104	14,114
	11	790	151,992	108,408	33,310	11,385					115	
	12	890	183,984	156,648	35,387	17,223					136	12,955
23	1	970	209,616	185,160	34,941	27,291					143	
	2	938	186,480	136,968	31,646	30,700					136	15,494
	3	802	188,016	139,080	33,376	19,727					134	
合計			2,436,814	1,716,288	393,803	249,972			240		1,371	82,136
電力事業者		九州電力(株)										

年間経費(千円)(基本料を含む)										0
平均単価(千円)(基本料を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0		0.0	0

種別	熱量	小計								
換算値	(GJ)	合計	24,295	15,927	3,844	11,511		9		1,864
原油換算	小計					290		0		48
(kL)	合計	626	410	101		290				
CO ₂	小計				570		1		78	
(t-CO ₂ /年)	合計	914	599	148		571				

55,586

【換算係数】

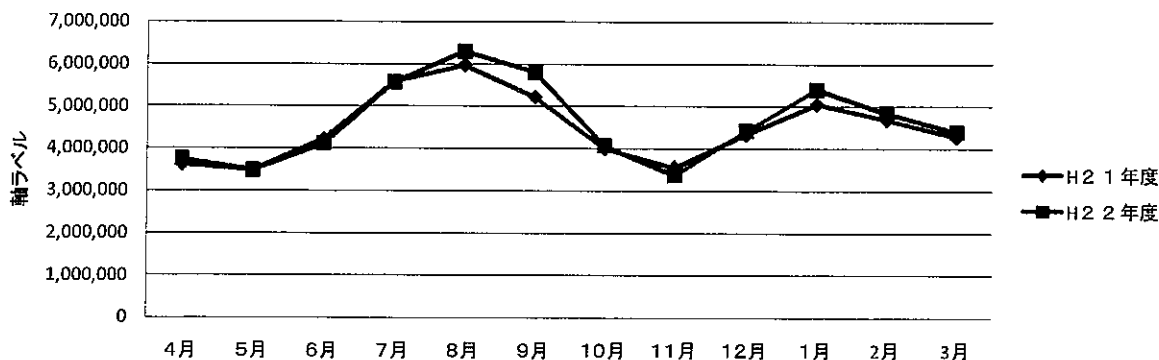
項目	購入電力	購入電力	購入電力	都市ガス13A	LPG	灯油	重油A	蒸気	温水・冷水	天然ガス
単位発熱量	9.97	9.28	9.76	46.05	50.2	36.7	39.1	1.36	1.36	
	GJ/千kWh	GJ/千kWh	GJ/千kWh	GJ/千m³	GJ/t	GJ/kL	GJ/kL	GJ/GJ	GJ/GJ	GJ/千m³
原油換算係数	0.257	0.239	0.239	1.16	1.30	0.95	1.01	0.0351	0.0351	
(報告書作成用)	kL/千kWh	kL/千kWh	kL/千kWh	kL/千m³	kL/t	kL/kL	kL/kL	kL/GJ	kL/GJ	kL/千m³
CO ₂ 排出量算定係数	0.375	0.349	0.349	2.28	3.00	2.49	2.71	0.0568	0.0568	
(報告書作成)	t-CO ₂ /千kWh	t-CO ₂ /千kWh	t-CO ₂ /千kWh	t-CO ₂ /千m³	t-CO ₂ /t	t-CO ₂ /kL	t-CO ₂ /kL	t-CO ₂ /GJ	t-CO ₂ /GJ	t-CO ₂ /千m³

総熱量 55,586,300 MJ 109.97%
 総床面積 29,730 m²
 m²当たり 1,870 MJ

記念病院月別エネルギー使用量(MJ)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	単位MJ
H21年度	3,627,466	3,499,112	4,240,171	5,597,865	5,979,236	5,228,547	4,011,653	3,560,383	4,338,381	5,054,238	4,695,727	4,282,622	合計
H22年度	3,753,032	3,490,830	4,115,707	5,572,954	6,300,728	5,813,006	4,075,217	3,370,771	4,426,510	5,405,931	4,852,869	4,399,360	54,115,402
差額	125,567	-8,282	-124,464	-24,911	321,492	584,459	63,564	-189,612	88,129	351,693	157,142	116,738	1,461,514
累積差額		117,284	-7,180	-32,090	289,402	873,860	937,424	747,812	835,941	1,187,635	1,344,776	1,461,514	

エネルギー使用量年度比較(21,22年度)



紙及び消耗品記録簿

紙

作成者	承認	承認
		
5/30	5/31	5/31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
実績21年度	料金	178,882	139,029	174,853	154,744	100,195	105,130	178,511	135,084	111,002	146,671	122,915	142,940	1,689,956
実績22年度	料金	117,542	128,740	144,240	146,506	98,941	132,825	115,121	122,265	145,192	119,787	116,112	143,055	1,530,325

平成23年実績報告より厳密にコピー用紙の使用量を記載管理すること(5/30古沢)

90.55%

消耗品

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
実績21年度	料金	1,882,323	1,904,438	2,047,414	2,196,596	1,813,352	1,936,720	2,045,797	2,079,804	2,379,527	2,774,174	2,903,078	9,234,278	33,197,501
実績22年度	料金	2,495,057	1,785,118	1,781,949	1,680,826	2,253,694	2,022,617	2,046,724	1,847,778	2,707,019	1,482,777	1,825,510	3,099,455	25,028,524

※H22年3月(21年度)は電子カルテ入替導入に伴い金額が増大している(5/30古沢)

75.39%

廃棄物処理記録簿(単位kg)

一般廃棄物

作成者	承認	承認
		
5/30	5/31	5/31

(単位:使用量(kg)、料金(円))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実績21年度	使用量 19,368	18,550	19,910	20,490	20,350	21,170	20,020	19,080	19,960	17,310	17,190	20,570	233,968
	料金 64,575	62,055	66,465	68,355	67,095	63,315	67,095	63,000	66,150	60,480	57,960	68,670	775,215
実績22年度	使用量 19,070	18,320	18,610	19,370	19,240	18,810	20,570	28,450	19,170	17,730	17,380	18,700	235,420
	料金 62,685	61,740	63,630	64,890	65,205	62,685	60,445	62,370	64,260	59,535	58,625	63,930	750,000

100.6%
96.7%

医療用廃棄物

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実績21年度	使用量 5,789	4,837	5,885	5,727	5,931	4,803	5,567	5,630	5,532	4,940	5,358	5,597	65,596
	料金 248,486	208,474	252,792	245,325	254,120	205,705	238,797	241,758	236,445	211,254	230,078	239,769	2,813,003
実績22年度	使用量 5,140	5,509	5,453	5,628	5,558	5,026	6,062	5,413	5,538	5,460	5,174	5,696	65,657
	料金 220,982	236,663	232,974	241,521	236,831	213,717	259,105	230,558	236,827	232,932	221,959	243,041	2,807,110

100.1%
99.8%

環境目標管理簿

事業所名 (潤和会記念病院)

作成者	承認者
環境管理責任者	経営者
北林 大野	

電気使用量記録簿 (単位: kWh)

電気使用量記録簿												(単位: kwh)			平成23年 5月30日			平成23年 5月30日		
基準年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	削減量(kWh)		前年比	基準年比			
														削減量(kWh)	コスト削減(円)					
実績 21 年度	使用量	255,960	268,008	342,840	440,352	441,024	363,840	284,448	266,928	326,808	363,432	308,712	305,544	3,967,896						
	料金	4,296	4,203	4,790	5,816	5,873	4,956	4,113	3,980	4,404	4,668	4,315	4,310	55,724						
1年目	使用量	265,320	270,240	334,056	449,850	477,480	412,780	297,024	260,400	340,632	394,776	323,448	327,096	4,153,102				104.67%		
実績 22 年度	料金	3,983	4,007	4,533	5,816	6,151	5,581	4,335	4,083	4,636	4,994	4,490	4,994	57,603						103.37%
2年目	使用量																			
実績 23 年度	料金																			
3年目	使用量																			
実績 24 年度	料金																			

※料金については、必ずしも記入する必要はありません。

水道使用量記録簿 (単位: ㍒)

基準年度		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計	削減量(m3)	
実績	年度	使用量																	前年比	コスト削減(円)
		料金																基準年比		
1年目		使用量																		
実績	年度	料金																		
2年目		使用量																		
実績	年度	料金																		
3年目		使用量																		
実績	年度	料金																		